

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県民文化祭開催費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課文化振興係 電話番号：058-272-1111(内 2458)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,892 千円（前年度予算額：33,905 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	33,905	0	0	0	0	0	0	0	33,905
要求額	15,892	0	0	0	0	0	0	0	15,892
決定額	14,400	5,000	0	0	0	0	0	0	9,400

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民の芸術・文化活動への参加及び相互交流を促進し、岐阜県らしさを活かした地域文化の振興と創造を図るため、(公財)岐阜県教育文化財団が行う岐阜県民文化祭事業に対して支援する。

(2) 事業内容

①「清流の国ぎふ創作オペラ（仮称）」開催事業

令和6年開催予定の国民文化祭に向け、県内各地で自主的に設立された音楽劇団体の活動活性化及び担い手育成のため、団体の自主公演及び公演のための新作制作を支援する。

②岐阜県文芸祭開催事業

本県の文芸創作活動の充実を図るため、広く県内外から10部門（当該年度のみ）の作品を募集し、優れた作品を表彰するとともに作品集に掲載する。

(3) 県負担・補助率の考え方

本県の文化振興を図る上で重要な事業であり、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
補助金	10,000	「清流の国ぎふ創作オペラ（仮称）」の開催
補助金	5,892	岐阜県文芸祭の開催
合計	15,892	

決定額の考え方

- ・ 事業内容を精査し、所要額を計上します
- ・ 財源については、地方創生推進交付金を充当します

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - （１）地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

（２）事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて（公財）岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

（公財）岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	岐阜県民文化祭開催費補助金
補助事業者（団体）	(公財)岐阜県教育文化財団 (理由)当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	(目的)文化活動への参加及び創造を促進する (内容)「清流の国ぎふ創作オペラ（仮称）」の公演、 「岐阜県文芸祭」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 (内容)県 10 / 10 (理由)本県の文化振興事業を図る重要な事業であり、補助対象経費を全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期令和 5 年度 (理由)「『清流の国ぎふ』創成総合戦略」の終期であるため。

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>文化芸術活動に参加する県民の増加、新たな文化の創造及び地域の伝統文化等の継承を図ることにより、自律的な文化活動を確立させる。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H9 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
① ひだ・みの創作オペラ入場者数	0	—	—
② 出演者及びスタッフ参加者総数に対する県民参加率	0	—	—
③ 「清流の国ぎふ創作オペラ（仮称）」の入場者数	—	定員の 70%	定員の 80%
④ 「清流の国ぎふ創作オペラ（仮称）」の観覧者アンケートによる満足度	—	70%	80%

※指標①②はR 2 年度までの目標、指標③④はR 3 年度からの目標

※指標④の満足度は公演について「とてもよかった」あるいは「よかった」と回答した割合

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	17,502 千円	33,905 千円	33,905 千円	33,905 千円	15,892 千円
指標①目標	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人	
指標①実績	820 人	372 人	728 人	(推計値) 未実施	
指標①達成率	82.0%	37.2%	72.8%	(推計値) -	
指標②目標	100%	100%	100%	100%	
指標②実績	99%	99%	95%	(推計値) 未実施	
指標②達成率	99%	99%	95%	(推計値) -	
指標③目標					70%
指標③実績					(推計値) 70%
指標③達成率					(推計値) 100%
指標④目標					70%
指標④実績					(推計値) 70%
指標④達成率					(推計値) 100%

(前年度の成果)

ひだ・みの創作オペラは、令和3年2月6日(土)、7日に、ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)で開催予定。

岐阜県文芸祭は、5,510人、10,462作品の応募があり、3月に予定する表彰式に向けて審査している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

ひだ・みの創作オペラは、20年以上の公演を通じ、公演参加者による地域に根付いた活動が生まれている。(公財)岐阜県教育文化財団から、各団体による自主的かつ継続的な活動に対する支援事業への転換を進めるとともに、国民文化祭に向けた、新作の上演への支援を行う。

岐阜県文芸祭は、応募者の増加傾向がみられ、引き続き文芸に取り組む層のすそ野を広げるべく、応募方法、広報等の検討が必要。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い	
(評価) ○	ひだ・みの創作オペラは、各地域の伝承を元にした公演を継続することにより、その土地固有の文化的自覚が醸成され、自律的な活動につながっている。 岐阜県文芸祭は、幅広い年齢層の参加があり、県民等に年齢を問わず創作活動の発表の場として活用されている。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	ひだ・みの創作オペラは他地域での公演にも多くの観客が訪れ、評価も高い。各地域の伝承や文化の継承という目標を達成するだけでなく、他地域で地元の文化を発信するという副次的効果も認められる。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある	
(評価) ○	岐阜県文芸祭においては、平成29年度に飛騨美濃じまん部門を廃止するなど適宜効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

「ひだ・みの創作オペラ事業」は、過去20年の集大成である「20周年記念特別公演 (H30~R2年度)」が終了したため、これまでの取組みに一区切りをつけ、今後は県内各地で活動する音楽劇の団体の自立的な活動の支援への転換を図る。 岐阜県文芸祭は、県民等に対し創作活動への参加の機会を提供することにより、岐阜県の文化振興に寄与しているため、継続が妥当である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続 ・削減・統合・廃止
(理由) 県民の自立的な文化活動を適切に支援・振興すべく、現状を踏まえ、事業の在り方・手法を見直す必要がある。